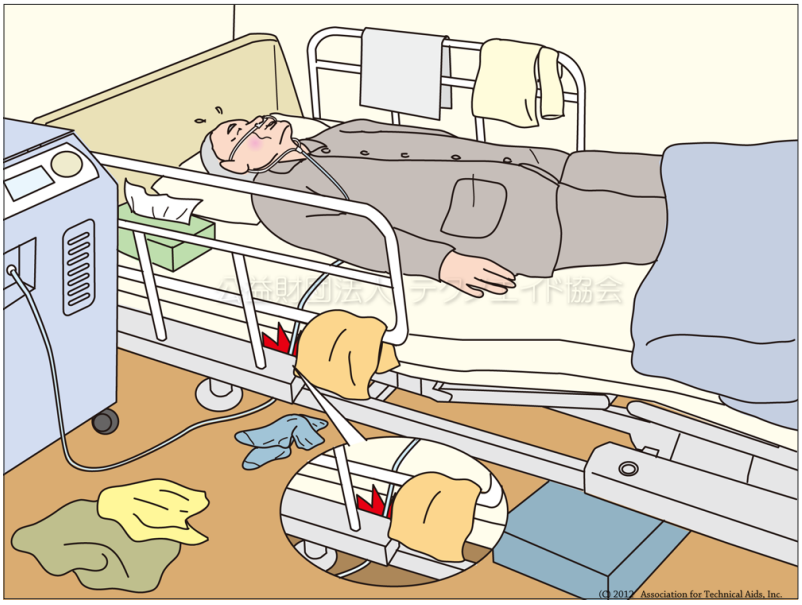
Case：35

酸素チューブがベッドの隙間に挟まり、酸素が十分に供給されなくなる

場面の説明

背上げの際、酸素チューブが可動部に挟まったが、介助者はすぐには気がつかなかった



利用シーン	その他
主な利用場所	寝室
介護保険の種目	―
分類コード(CCTA95)	030318(酸素ユニット)
介護テクノロジー	―
二次元バーコード	

解説

ベッドには多くの挟み込みやすい箇所があり、背上げや高さ調整などの操作をするときには、酸素チューブが挟み込まれていないか確認することが重要です。また、このようなヒヤリ・ハットを起こさないためには確認しやすい環境も重要ですので、ベッド周りは整理整頓しておきましょう。

参考要因

人：ベッドの可動部に酸素チューブが挟まることを想定していなかった
モノ：使用上の注意を促す表示がなかった
環境：布団などで、酸素チューブの位置がわかりにくかった

Copyright 2000-2012 Association for Technical Aids, Inc. All rights reserved.